

機械設備等(動産)の評価実施に当たって ご準備をお願いしたい事項

1. 全体を把握するために御提供いただきたい情報

- ・会社案内、工場案内、パンフレット
 - ・工場の概要(*所在、*土地・建屋面積、経歴、生産高、従業員数、*生產品目、品目ごとの生産高など)
 - ・*工場の配置図、工場内の生産ラインのレイアウト
 - ・*生産プロセスの概略
 - ・*生產品マーケットの状況
- ※既存の資料で構いません。足りない場合は口頭で伺います。*印は必須

2. 対象資産についての情報

- ・固定資産台帳(取得価額、取得時期を含むもの)
- ・中古購入資産の有無・自家建設での購入に該当するか・圧縮記帳、臨時償却実施の状況(あれば、時期、価額、償却額の明細)
- ・設置コスト、付随費用の明細(無ければ同種資産取得時の概算資料)
- ・機械設備のメーカー名、モデル名、能力、汎用・特注の別
- ・設計上の生産能力と実際の稼働率
- ・遊休・休止機械設備があれば、その明細と休止・遊休の理由
- ・生産ラインのボトルネックの有無とその影響
- ・メンテナンス状況
- ・生産ラインの変更、更新予定、新規取得予定

3. 実査の日程の調整をお願いします。

企業会計に関する評価においては不正防止の観点から実物の確認が強く要請されます。やむを得ない場合を除き実査を行いますので、大変お手数ですが、ご案内をお願い致します。

4. 基準日(貸借対照表日)及び適用している会計基準

機械設備(動産)は不動産と異なり、固定されていないものであることが前提になるため、実査日を評価基準日としますが、貸借対照表日との資産の状況差異について記載する必要があります。

また、採用している会計基準(日本基準、米国基準、IFRS)により、処理の方法が異なってくるため、確認にご協力をお願い致します。